



東京湾再生官民連携フォーラム 平成 26 年度第 3 回企画運営委員会

1. 開催日時 平成 26 年 10 月 3 日 16:00～18:00
2. 開催場所 第 2 秋山ビル (虎ノ門 HILLS) 2 階ホール
3. 議事次第

《 審議事項 》

- 1) 東京湾再生官民連携フォーラム平成 26 年度総会議事次第 (案) の変更について
- 2) 指標 P T からの政策提案について

《 報告事項 》

- 1) PT 活動状況報告

4. 出席者

來生委員長、岡田委員、笛木委員、工藤委員、鈴木委員、田久保委員、竹口委員、関口委員、難波江代理、山縣代理、小谷野委員、根木委員、吉原代理、山本代理、儀間委員、川村代理、落井代理、林委員、八木代理、須藤委員、安藤代理、細川 (事務局)

5. 議事

(1) 審議事項 1. 「東京湾再生官民連携フォーラム平成 26 年度総会議事次第 (案) の変更について」

- ・平成 26 年 10 月 25 日開催予定の東京湾再生官民連携フォーラム平成 26 年度通常総会の議事次第 (案) が承認された。
- ・審議議題は、「東京湾再生推進会議への政策提案について」を予定している。

(2) 審議事項 2. 「指標 P T からの政策提案について」

- ・指標 P T 長から政策提案原案および原案にもとづく会員への意見照会の結果が説明された。
- ・P T からの提案通りフォーラム総会での政策提案とすることで承認された。

(3) 審議事項 3. 「平成 26 年度フォーラム総会および東京湾大感謝祭のプログラムの概要 (案) について」

- ・事務局から提案のあった平成 26 年度フォーラム総会の次第 (案) および東京湾大感謝祭のプログラム概要について了承された。

《 審議経過 》

- ・立派な提案になってきた。多様なメンバーによる P T での議論の成果に敬意を表する。
- ・提案を各 P T が受け止めてどう行動していくかも大切。



- ・提案に至る過程でも官民連携の精神が生かされているように感じる。
- ・フォーラム総会での審議では、もう少しコンパクトな資料で説明してほしい。

《報告事項》

1) PT 活動状況報告 (PT 長報告)

各 PT 長から活動状況が報告され、承認された。

田久保実行委員長 (東京湾大感謝祭 PT)

- ・全体の姿が少しずつ明らかになってきた。予算が厳しい中ではあるが、屋内のホール、屋外の広場、海上など行事の主体とスケジュールが具体的になってきている。もう一息。
- ・チラシ、ポスターができた。企画運営委員会の皆様には市民広報にぜひご協力を頂きたい。

細川事務局長 (古川モニタリング PT 長代理)

- ・古川 PT 長の提出資料を事務局長が説明。
- ・東京湾環境一斉調査に関連した活動を行った。

岡田副 PT 長 (佐々木生き物生息場づくり PT 長代理)

- ・千葉の漁民の方との意見交換を行った。

関口 PT 長 (海水浴復活 PT)

- ・PT の参加申し込み状況は、当会関係者を除き 6 名。今後、東京都港湾局、大田区、江戸川区からも参加して頂く予定である。
- ・PT 会合の開催は年明けを予定している。参加者へのミッション等の説明、意見交換を行う。

竹口 PT 長 (パブリックアクセス PT)

- ・10 月 1 日に第 1 回会合を開催し、副 PT 長を選出した。
- ・10 月 13 日現地調査予定している。調査を合理的、効果的に進めるために評価書を用意
- ・次回の PT 会合は 11 月 10 日を予定している。

2) 事務局報告

事務局から参考資料について説明。

1. 東京湾大感謝祭について、官、民各団体により広報のご協力をいただいている。
2. 10 月 24 日～26 日の一連の企画は、学問的にも重要なシンポジウムなので、チラシ、ポスターは、配布リストに記載以外の大学関係者へも送付する。
3. 配布リスト記載以外の広報に協力してくれそうな団体など、追加配布先につき事務局に至急ご教示いただきたい。

了